

## 西二小だより

H24.1.24(火)

第29号 文責 校長 安藤 勇司

**暗唱 初級合格4名** 暗唱活動に取り組む児童が増えてきました。12月に1年の並木絵理さん、今回3年の樽川春菜さん・樽川菜摘さん、5年の根本悠司さんが初級合格しました。間もなく合格の人も何人かいます。校長室で2次テストを受けるのは結構緊張するようですが、それも勉強の一つです。職員室に向かって(職員室の先生によく聞こえるように)大きな声で暗唱しています。ご家庭でもひと声掛けていただきますと児童もやる気になると思います。ご協力をお願いします。



(2次テストを受ける子ども達)

**表彰関係の紹介**

第65回福島県下小・中学校音楽祭・・・第3部 創作 銀賞 西條真央さん

句集「桔槔」掲載優秀作品

6年、小竹優香さん「クリスマスツリーの光暖かい」・・・(評)「光が暖かい」という感性に惹かれました。クリスマスツリーだから暖かいと感じたのでしょう。

6年、樽川和広さん「ぐつぐつとおでんがぼくを温める」・・・(評)温めるのはぐつぐつという音なのですね。そこがおもしろいのです。



- 1年、並木絵理さん「たこ上げの たこが上って ちいさいな」
- 2年、古川采実さん「サンタさん みんなまってる がんばって」
- 3年、和田歩海さん「晴れの朝 ため息ついたら 白いいき」
- 3年、佐浦 将さん「おんせんで じいちゃんたちと あったまる」
- 3年、横田愛花さん「夕方に こたつでうとうと 日がくれる」
- 3年、伊東美空さん「ゆたんぼを だいていたら ゆめの中」
- 5年、佐浦宏紀さん「バカの種 ついてきたよ 家の中」
- 6年、西條真央さん「ビュービューと 風と仲良く 雪がふる」

**うれしい・さすが保護者の皆さん** 土～日曜日の大雪で昨日の朝は、子供達も登校するのが大変でした。雪かきをしていない歩道を、班ごとに苦労しながら歩いていました。ズックの児童は、ズボンのすそが濡れて冷たそうでした。“今日は送ってもらう児童が多いだらうな。”と思っていましたが、ほとんどの児童が歩いて登校していました。うれしくなりながら、私は思います。“かわいい子には旅をさせよ”という諺がありますが、西二小の親さん方はそのことをよく分かっているらしい。やがて子ども達は社会に出ます。社会に出れば、大変なこと・つらいこと・泣きたくなることもあります。そういう事から逃げないで、乗り越えていってほしいと親は願うはず。困難にくじけない強い心が必要です。6年間自分の足で歩くというのは、強い心を育てるのにとっても良いことの一つだと考えます。・・・前の学校(古殿)のことを書きます。向こうの親さんも子ども達を送って来ません。送ってくるのは、台風の時とか雪がひざ辺りまで積もった時で、年間2～3回くらいしかありません。ですから、送ってもらった時の子ども達の顔はニコニコでした。一般的に考えれば、親は子どもよりも先に亡くなります。困難にくじけず自立して生きていく子どもに育てることが大切なのではないでしょうか。(自分にとっても難しいのですが・・・)

